

事務事業 No./名称	<input type="checkbox"/> サービス部門 経企-09 広報事業 <input checked="" type="checkbox"/> 支援部門									
主管課	秘書広報課	関連課								
分野名	市民参画・協働の推進									
目標 (目標値)	広報活動の充実									
人口等のデータ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備考					
	人口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	世帯数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯						
	事業の対象者数									
運営資源状況	決算値(千円)	62,899	81,435	74,444	・広告料収入 ・市町村振興協会交付金 ・職員1名は長期休暇中					
	(国・県)		7,025							
	(負担金等)	5,143	4,367	5,129						
	(一般財源)	57,756	70,043	69,315						
	人員配置数	5.0	5.0	6.0						
	人件費(千円)	40,570	43,339	53,125						
事務事業運営経費	協働のパートナー	点訳赤十字奉仕団、朗読録音奉仕会、市民チャンネルボランティア鎌倉		点訳赤十字奉仕団、朗読録音奉仕会、市民チャンネルボランティア鎌倉		点訳赤十字奉仕団、朗読録音奉仕会、市民チャンネルボランティア鎌倉				
	総事業費(千円)	103,335	124,774	127,569						
	市民1人当りの経費(円)	583	704	720						
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒	鎌倉市	横須賀市	平塚市	藤沢市	茅ヶ崎市	伊勢原市	逗子市	大和市	小田原市
	広報紙頁数タフroid版	8	12・16	8	4・12・14	8	4・8	-	-	-
	広報紙頁数A4版	-	-	-	-	-	-	24	16・20・24	16・24
	月発行回数	2	1	2	2	2	2	1	2	2
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)			
	市ホームページに対する評価(必要な情報を入手できているかのアンケート指標)	○	目標値	58%	59%	60%	61%	64%		
			実績値	58.3%	61.5%	62.6%	65.1%			

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	
広報事業	1,422千円	①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A ■B □C □D □E
	事業の概要	広報一般事務の経費を支出する				
印刷広報事業	36,137千円	①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A ■B □C □D □E
	事業の概要	広報かまぐら発行に伴う経費を支出する				
視聴覚広報事業	25,340千円	①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A ■B □C □D □E
	事業の概要	KCC、かまぐらFM、エフエム横浜による市政番組放送の委託、広報板の維持、ホームページの運用等の事業を行う				
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	ホームページは、一部未改修のページがあるため、各課と連携を図り計画的に修正していく必要がある。		
課題解決のための取組	ホームページは、カテゴリーのページ改修を引き続き行うとともに、イベントカレンダー等コンテンツの充実を図った。また、外国籍市民及び来訪者等より多くの人に情報提供していくため、公開されている日本語のホームページを英語・韓国語・中国語に自動翻訳して提供した。情報提供ツールの充実のためfacebookの運用を開始した。	取組の結果	■解決 □未解決
未解決の課題	ホームページは、ユーザーである市民の方がより分かり易く、見やすいように随時改修・更新していく必要がある。		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性	○	今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了
	②妥当性	○	③有効性		○	④公平性
					ホームページについては、引き続きユーザーである市民の方が見て、より分かり易く、見やすいように改修を行う。さまざまなメディアを活用して情報提供している中で、情報をより入手しやすくするとともに、各メディアの特性を生かした情報発信を行っていく。	課長等名 秘書広報課長 奈須 菊夫

## (2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
広報事業	秘書 広報課	457 新聞記事複写使用料	1,000	983	○	○	○	○
印刷広報事業	主な個別事業	458 広報紙編集嘱託員報酬	7,776	7,488	○	○	○	○
		458 広報紙製作委託	18,280	15,717	○	○	○	○
		458 広報紙配布委託	20,675	19,993	○	○	○	○
視聴覚広報事業	主な個別事業	459 ホームページ管理嘱託員報酬	1,296	1,296	○	○	○	○
		459 市政番組放映・放送委託料	21,017	21,017	○	○	○	○
		459 広報板ポスター掲示・巡回委託料	844	844	○	○	○	○
		459 ホームページ管理システム賃借料	2,155	2,155	○	○	○	○
		460 ホームページ自動翻訳サービス利用料	252	231	○	○	○	○
	主な個別事業							
	主な個別事業							